

30by30ロゴマークを用いた支払意思額調査概要（日本）

令和4年度 環境省実施調査

■ 調査概要

30by30目標（2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標）の達成に向け、自然共生サイトの認定促進や管理への支援を促進するための方策の検討の参考にするため、30by30ロゴマークを活用した調査を行った。

■ 調査内容

自然共生サイトの認定や管理に貢献した企業や団体が活用できる認証マーク（本調査においては仮に30by30ロゴマークを使用）がついた商品があったときに、通常の商品より購入意欲が上がるか、購入金額を上げて（管理への寄付分を追加）購入されるか、どの見せ方が購入意欲を上げるか（ロゴに付随する説明方法を変えた場合）などを把握するため、仮想で買い物の場面を設定し、通常の商品、ロゴ付き商品等との比較で、「認証マーク」の効果有無や効果的な説明方法について検証する。

■ 30by30ロゴマーク



※本調査内では仮に認証
マークとして設定

■ 調査条件

1. 対象商品は仮想の緑茶：500mlペットボトル140円と設定
2. マークあり・なしで価格差を設け、どちらを購入したいかの意識調査
3. 全ての群について、選択の前に、マークの説明を読んでもらう。
4. 事前に属性等の質問、モニタ自身が日用品を買うのかどうかの質問

30by30ロゴマークを用いた支払意思額調査概要（日本）

■ 調査結果

■ 多段階二肢選択方式（対照群）



A. ロゴマークなし

140円



B. ロゴマーク付き

?円



生物多様性・30by30目標
の実現に貢献しています

支払意思額が
6～7円up

■ 多段階二肢選択方式（介入群1）



A. ロゴマークなし



B. ロゴマーク付き



里地里山の保全を通じて
生物多様性・30by30目標
の実現に貢献しています

支払意思額が
さらに2～3円up

■ 多段階二肢選択方式（介入群2）



A. ロゴマークなし



B. ロゴマーク付き



トンボが暮らす田んぼや
水辺の保全を通じて
生物多様性・30by30目標
の実現に貢献しています

支払意思額は
3行の時と変わらない